

短期健康影響(WHO ガイドラインより)

PM2.5、二酸化硫黄、オゾンなどを含む大気汚染物質の健康影響

- ・日死亡(PMと日死亡には正の相関がある)
- ・呼吸器系、心血管系疾患による入院、救急受診、プライマリケア受診
- ・呼吸器系、心血管系薬の使用
- ・活動制限が必要な日数
- ・会社欠勤、学校欠席
- ・急性症状(喘鳴、咳嗽、喀痰、呼吸器感染症)
- ・生理機能変化(呼吸機能など)

出典: WHO: Air Quality Guideline Global Update 2005, WHO, Geneva, 2006.

週刊 医学のあゆみ 247(8); 662-666. 2013